

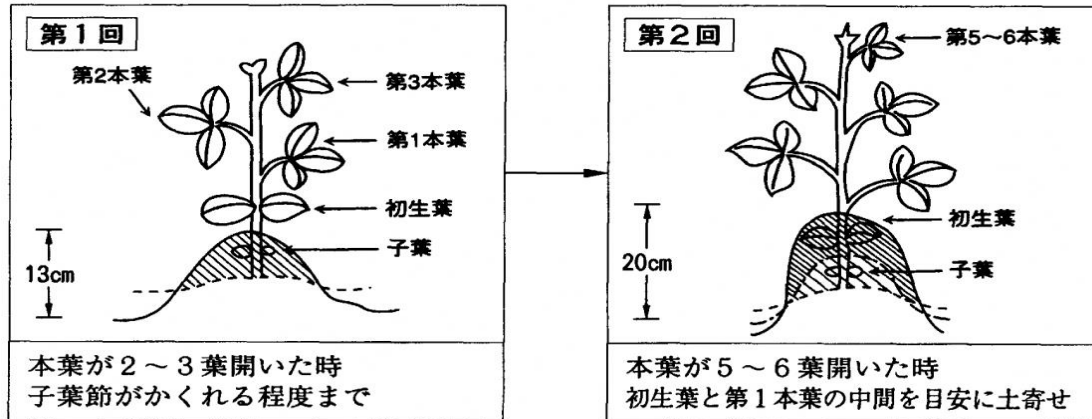
# 大豆だより

## 土寄せ効果と湿害対策で良質大豆を！！

土寄せは根量の増大、倒伏防止、雑草抑制の効果があり、収量を高めるための重要な作業です。精度の高い土寄せに努めましょう。梅雨時期は断続的な降雨が予想されることから、今一度排水溝の点検・整備を実施し、湿害の防止に努めましょう。

### 1. 土寄せ

※ 畦立て同時播種を実施した圃場では、5～6葉期の1回のみ土寄せを行う。



- ① 株元に十分に土寄せし、うねの中央部が低くならないようにする。
- ② 開花期以降の培土は、根を痛めて収量の低下を招くため、遅くとも開花期10日前までに2回目の土寄せを終わらせる。(開花期: 7月20～25日頃)
- ③ 土寄せによる溝は、必ず排水溝に繋ぐ。

### 2. 土寄せ時期の目安

	実施時期
第1回土寄せ (2～3葉期)	播種後15～20日まで
第2回土寄せ (5～6葉期)	7月1日～10日まで

### 3. 追肥

	施用時期	肥料名	10a当たり施用量
湿害等で葉色が淡く、初期生育不足の圃場のみ部分施用	～7月上旬まで	硫安	10kg
1回目追肥	第2回土寄せ直前	硫安	10～15kg
2回目追肥	開花期10日後	尿素	4～5kg

- ① 大豆一発肥料を使用した場合は原則追肥不要。  
(生育不足、葉色が薄い場合は、1回目のみ追肥を行う。)
- ② 葉色が濃く、排水良好な圃場では追肥不要。(大豆根粒菌の活性化のため。)
- ③ 肥料焼けを防ぐため、大豆の葉に露のない時に施用する。

### 4. 排水対策の徹底

6月下旬から7月にかけての梅雨時期は断続的な降雨が予想されます。今一度排水溝を水止尻に繋ぐなど、排水対策を徹底してください。この時期の排水不良は、大豆根粒菌の活性化を阻害し、収量・品質の低下を招く恐れがあります。

生産履歴とGAPは的確に記帳しましょう！

農薬はラベルを確認して散布しましょう！

**5. 除草剤散布** ※周辺作物にかからないよう注意して下さい。

	薬剤名	使用時期	10a 当たり 使用薬量	希釈水量	使用 回数
全面処理	ポルトフロアブル	イネ科雑草 3~10葉期 ※収穫30日前まで	200~ 300ml	100ℓ	1回
	大豆バサグラン液剤 【注1】	広葉雑草(主にタデ類) 雑草生育初期~6葉期 (大豆本葉2葉~開花期) ※収穫45日前まで	150ml	100ℓ	1回
畝間	バスタ液剤	雑草生育期 ※収穫28日前まで	500ml	100ℓ	3回 以内
畦畔 【注2】	ラウンドアップ マックスロード	雑草生育期 ※収穫前日まで	500ml	100ℓ 少量散布50ℓ	1回
	タッチダウン iQ	雑草生育期(草丈30cm以下) ※収穫前日まで	500ml	少量散布 50ℓ	2回 以内
	プリグロックスL	雑草生育期(草丈30cm以下) ※収穫3日前まで	600~ 1000ml	100ℓ	4回 以内

【注1】

大豆バサグラン液剤を散布すると、大豆の葉に斑点、色抜け、黄変、萎縮、部分枯死等の薬害が生じる場合があります。

【注2】

大豆の畦畔除草には、バスタ液剤、ラウンドアップマックスロード、タッチダウンiQ、プリグロックスLが使用できます。これらを畝間に使用する場合は、飛散防止カバーを使用するなど、大豆に飛散しないよう、十分に注意してください。

- ・ラウンドアップマックスロードとタッチダウンiQは同じ成分です。使用回数に注意し使用してください。
- ・ラウンドアップマックスロードやタッチダウンiQを少量散布する場合は、専用のノズルを用いてください。

**6. 病害虫防除(液剤体系)** ※無人ヘリ防除の薬剤と同じ薬剤です。

	防除時期		薬剤名	散布量	対象病害虫
基幹防除	1回目	開花期(盛期) 7月25日~30日	アミスター20FL+ カスケード乳剤	2,000倍希釈液 100~300ℓ/10a+ 4,000倍希釈液 100~300ℓ/10a	紫斑病、カメムシ類、ハスモンヨトウ、マメシクイガ、ウコンノメイガ、ハダニ類
	2回目	着莢期 (幼莢15~20mm)	アミスタートレボン SE	1,000倍希釈液 100~400ℓ/10a	紫斑病、マメシクイガ、 アブラムシ類、カメムシ類
	3回目	子実肥大期 9月上旬	スミチオン乳剤+ プレバソンフロアブル5	1,000倍希釈液 100~300ℓ/10a+ 4,000倍希釈液 100~300ℓ/10a	カメムシ類、ハスモンヨトウ、マメシクイガ、ウコンノメイガ
随時	ウコンノメイガ発生時 ※1回目基幹防除でカスケード乳剤を使用しない場合、 随時防除で対応		サイアノックス粉剤	4kg/10a	ハスモンヨトウ、ウコンノメイガ、マメシクイガ
			プレバソン フロアブル5	4000倍希釈液 100~300ℓ/10a	

※粉剤散布を実施される場合は、別途ご相談ください。

詳しいことは営農指導員にお尋ね下さい